



地域商社支援

増田 武虎

Taketora Masuda

出身 神奈川県大和市

所属 株式会社かほくらし社

任期 R4.4～R7.3

協力隊にQ&A

Q.協力隊になったきっかけは？

A.河北町の食の魅力に惹かれたことから。前職に農業法人で生産をした経験から、生産者をサポートする仕事がしたいと考えていたところに協力隊の募集を発見しました。

Q.河北町の好きなところは？

A.どの季節でも地のおいしいフルーツが食べられること！

活動紹介1

かほくワインの 醸造補助

河北町の新名物商品として“かほくワイン”の商品化・ブランド化を推し進めています。取り組み内容としては、町内産ブドウの栽培状況を把握し、ワイナリーとの橋渡しを行っています。実際に生産→収穫→仕込→醸造の過程を生産者、醸造家とともにに行いマニュアル化することで新規就農者が参入しやすい環境づくりを目指します。販売はかほくイタリア野菜の販路を活



用し町外・県外の飲食店に展開したり、協力隊滝口さんと共に商談イベントやワインイベントに参加して周知を広げています。

現在一般販売をして3年目となりますが、ありがたいことに毎年大好評で完売となっています。昨年収穫ブドウでつくったワインがまもなく新登場いたします。河北町産のブドウ100%使用したかほくワイン、是非町内の方にも飲んでいただきたい逸品です。今後河北町の新しい特産品として定着し、ワインプロジェクトが次世代の農業の架け橋となることを願っております。



活動紹介2

かほくイタリア野菜の 受発注業務

ブランド“かほくイタリア野菜”の受発注のとりまとめを行っております。作業内容として、①農家さんに出荷可能な野菜をヒアリング②商品の一覧リストを作成し全国の取引先に送信③店舗、業者からの注文をとりまとめ農家に発注④店舗ごとに商品の振り分けをし、県内、県外への発送を担当しております。販路開拓として展示会や商談会等多くのシェフや卸会社のバイヤー

今後の抱負

河北町に恩返し

が集まるイベントに参加し、生産物のPRや営業を精力的に行い新規販路の開拓を行っています。

どの店舗からも河北の食材はとても好評で、私も自信を持って案内ができています。この3年間の活動を通して、生産者さんやモノづくりに従事する方と接する機会が多くありました。河北町には仕事に真摯に向き合い、こだわりを持って取り組んでいる方が多く、そんな方々と関わっていることを誇りに思います。

沢山の経験や出会いがあったこの河北町に恩返しができるよう、これまでの経験を活かして今後も邁進してまいります。3年間温かく応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。